

「体験活動プログラム研修会・地域活動指導員等研修会」事業報告

- 1 事業名 平成30年度体験活動プログラム研修会・地域活動指導員等研修会
- 2 期日 平成30年6月13日(水)
- 3 参加者 27名
- 4 日程

| 時 程 | 内 容 |
|--------|--|
| 9:40 | 受付 |
| 10:00 | 説明1 施設案内1 |
| 10:20 | 開会行事 ・「体験の風をおこそう」運動事業説明 |
| 10:30 | 研修1〈説明・講話〉 「スマホ時代の子どもたちの体験活動と人権課題」 筑豊教育事務所 社会教育室 社会教育主事補 帆足 梓 人権・同和教育室 社会教育主事補 持丸 修一郎 |
| 11:10 | 研修2〈交流〉 「担当業務別グループ交流」 ※人権啓発と体験活動に分かれて交流 ○人権啓発グループ コーディネーター 持丸 修一郎 ○体験活動グループ コーディネーター 帆足 梓 |
| 12:00 | 説明2 施設案内2(昼食含む) |
| 13:00 | 研修3〈講話・実践発表〉 「通学合宿が目指したものと庄内生活体験学校のこれから」 飯塚市庄内生活体験学校 館長 正平 辰男 氏 飯塚市庄内生活体験学校 次長 原 和也 氏 |
| (休息含む) | |
| 14:50 | |
| 15:00 | 閉会行事 |

5 活動の実際

説明1

(1) 内容

説明1では、通学合宿専用施設として整備された飯塚市庄内生活体験学校の施設について、館長の正平氏から説明がありました。建設時の旧庄内町との関わりや研修会場である生活棟の特色、合宿の際に子どもたちの食事に使う野菜を育てている畑や、新しくできた農楽堂などの施設等の紹介を行いました。参加者は通学合宿専用の施設として工夫されているところなどの説明に興味をもって聞いていました。

(2) 活動写真



研修会場の生活棟について説明する講師



畑や新たにできた施設の説明

研修1

(1) 内容

研修1では、現在の子どもたちを取り巻く生活環境、スマートフォンが子どもの体験に与える影響、インターネット上で起こる人権に関わる問題について講話を行いました。参加者はスマートフォンの影響で、子どもの体験の場・時間などが減少したり人権侵害がおこったりしている実態を知り、体験活動の重要性や人権侵害防止のための教育や啓発の重要性について学ぶことができました。

(2) 活動写真



スマートフォンが子どもの体験に与える影響についての講話



スマホ時代の人権課題についての講話

(3) 参加者の声

- 「体験活動は想像力を育てる」という言葉が印象に残りました。また、人権については「知的理解と人権感覚のバランス」の大切さが分かりました。
- スマホの使い方についての学習プログラムを考えようと思いました。
- スマホなどは学校でも課題です。学校だけの取組でなく、保護者への啓発、地域での啓発と広げていく必要が早急にあると思います。

研修2

(1) 内容

研修2では、参加者が体験活動グループと人権啓発グループに分かれて、日頃の業務で企画したものや、課題について交流しました。事業の取組方法など、参加者同士で質問をしたり解決策などを考えたりしながら、市町村を超えた交流の機会をもつことができました。

(2) 活動写真



体験活動グループの交流



人権啓発グループの交流

(3) 参加者の声

- 他の方と交流できたことが大きく、課題も少しずつみえてきました。また、解決のヒントもみつけれられました。
- 他の市町村における取組の違いを感じることができました。
- 他地区の取組を聞いたのは、とても参考になりました。

研修3

(1) 内容

研修3では、飯塚市庄内生活体験学校の設立までの背景や通学合宿を30年にわたってどのようなねらいで行ってきたかについて正平氏から講話があり、その後、原氏から現在、生活体験学校で実施されている通学合宿の具体的な内容について講話がありました。通学合宿で子どもたちに話し合いや力を合わせる活動を通して、お互いを尊重する態度の育成を図っていることなどの紹介がありました。

(2) 活動写真



生活体験学校のこれまでを語る講師



通学合宿の様子を報告する講師

(3) 参加者の声

- お膳立てをして体験活動をさせるのではなく、子どもの自主性を引き出す体験活動を企画・立案していこうと思いました。
- 合宿の全体的なことをとても細かに聞く事ができたので、これからの参考にすることができます。今日先生たちから聞いた事をいかしていきたいと思います。
- 教えるだけではなく、合宿の終盤には子どもたちだけで考えさせてさせる所が素晴らしいと思いました。最初できなかった子どもが日を追うごとにできてくるところが子どもを甘やかすだけではだめなのだ痛感しました。

6 全体をとおして

今回の研修会は、地域活動指導員、体験活動に関わる行政職員、通学合宿関係者、学校関係者、放課後子ども教室関係者など様々な立場の方々が参加しました。現在の子供たちとスマートフォンに関わる危険性と利便性、人権侵害の実情について理解を深めることができました。地域活動指導員や通学合宿関係者同士の情報交流の場を設けたことにより、今後の企画立案の際に生かせる研修になったようでした。

また、通学合宿を行う関係者にとっても、事業の内容を見直すきっかけづくりとなりました。